

ごあいさつ

大阪府立泉北高等支援学校のホームページにお越しいただきありがとうございます。
令和8年度、本校に校長として着任いたしました、岸田明子（きしだあきこ）と申します。
どうぞよろしくお願いいたします。

【はじめに】

本校は、昭和50年に病弱・身体虚弱のある児童生徒を対象とする「泉北養護学校」として開校しました。その後、平成11年に改編が行われ、高等部単独の知的障がい養護学校となりました。平成20年度からは「泉北高等支援学校」と校名を変更し、現在に至ります。通学区域は、堺市の中区・南区・西区のうち堺市立上神谷支援学校・福泉中学校・鳳中学校の校区となっています。今年度は、新入生37名を迎え、全校生徒125名でのスタートとなります。

【めざす学校像】

『チャレンジ・つながる・自立』を合言葉に、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を活用して、家庭や地域、関係機関等と連携を深めながら、障がいのある生徒一人ひとりの可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加に必要な資質・能力を培う教育を推進してまいります。

◆ チャレンジ

未来の「なりたい自分」「ありたい姿」に向かって、粘り強く挑戦していく姿勢を育む学校

◆ つながる

多様な学びの機会を通じて、自他のよさや違いを認め合い、尊重する意識・態度を育てる学校

◆ 自立

他者と協働しながら主体的に役割を果たし、自分らしく社会に貢献していく力を育てる学校

【おわりに】

高等部での3年間は、社会で自立した生活を送る上で必要となる力を習得するための貴重な期間です。本校卒業後、生徒たちが自分の持ち味を活かしながら、自立と社会参加を通して豊かな人生を拓いていけるよう、生徒本人の願いに寄り添い、粘り強く、全力で支援に取り組んでまいります。

また、子どもたちの成長・自立は、心理的安全性のある場で育まれます。教職員一人ひとりが、高い人権意識を持ち、人権教育を通して生徒同士が互いを尊重し合い、自分らしく生きる力を育むことをめざします。

今後も開かれた学校として、地域や関係諸機関の皆さまとの連携及び協働を大切にしながら、教職員一丸となって、生徒の持つ可能性を最大限に引き出せるよう、取り組みを進めてまいります。

保護者の皆さま、地域の皆さま、そして関係機関の皆さまには、今後も本校の教育活動にご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和8年 4月 1日
大阪府立泉北高等支援学校
校長 岸田明子